

カリフォルニアプルーン開花情報



弊社のアルゴドン農園からの連絡では、2013年産カリフォルニアプルーンは3月16日頃から開花が始まり3月22日には満開となりました。天候は暑すぎず、寒すぎず良好に推移し、開花後の天候も引き続き良好で、通常よりも比較的暖かい気温で推移しています。

今後も遅霜の可能性はあり楽観はできませんが現時点の開花状況、天候からは問題無く推移している模様です。

例年通り、今期の収穫量については6月初旬のカリフォルニア農業統計局(CASS)の第一次収穫予想を待つ状況です。

プルーンの収穫可能面積(ヘアリングエーカー)は、昨年比5千エーカー減の5万3千エーカーと一段と減少しており、今年も収益性の高いナッツへの転作を進めた農家が多く、今後も当面は収穫可能面積が大幅に増加するとは考えにくく、新興国需要の伸び次第では今後の安定供給に不安があります。

代表的な産地の状況は下記の通りです。

①チリ産は、5万トン(メトリックトン)程度の収穫量で、当初予想の6万2千トンから大幅に減産とみられ、前年比30%減で、価格も減産に伴い30%上昇

また、同じ南半球の代表的な産地アルゼンチン産は2万5千トンの収穫量

②フランス産は3万5千トン前後を予想

サンスウィート社では世界のプルーン需要量は約26万トンと見ており、カリフォルニアで今期10万トン程度収穫したとしても全世界の供給量は21万トン前後となり、必要量を確保できない状況になるものと予測しています。

今後、円安ドル高為替動向も相まって、製品価格は強含みで推移していくものと考えられます。



弊社農園の開花の様子